

『黒澤明監督特集』 映画上映会のご案内



当館、国際交流基金、ブエノスアイレス劇場複合施設（CTBA、市立サンマルティン劇場）及びアルゼンチン映画財団の共催により、「黒澤明監督特集」を10月2日（土）～23日（土）まで、サンマルティン劇場レオポルド・ルゴーネス・サロンにて開催いたします。

今回の企画は、「七人の侍」「生きる」「用心棒」「羅生門」等、世界中の批評家や映画ファンから愛される数々の名作を残した黒澤明監督（1910～1998）の作品の内、重要性では引けを取らないものの、様々な理由で、現在まで当地では上映や正しく評価される機会の少なかった作品に焦点を当てた映画上映会であり、昭和初期の日本の風景を映した「わが青春に悔なし」、ロシア文学を翻案した2作品「白痴」「どん底」、人間愛を謳った「赤ひげ」「どですかでん」等を含む9作品（35mmフィルム）で構成されています。是非、この機会をお見逃しなく。

会場 サンマルティン劇場 10階レオポルド・ルゴーネス・サロン（Av. Corrientes 1530、CABA）

期間 2021年10月2日（土）～23日（土）

※4日（月）、5日（火）、8日（金）、11日（月）、12日（火）、18日（月）、19日（火）は上映なし

入場料 200ペソ（一般、4回券600ペソ）、100ペソ（学生及び定年退職者）

Centro Cultural e Informativo de la Embajada del Japón, Bouchard 547, piso15, CABA, TEL.4318-8240
centro-info@bn.mofa.go.jp / <https://www.facebook.com/Emb.jp.ar>

日 程

- 10月2日(土) どですかでん (開始時間 / 14:00、18:00)
(1970年、140分、35mm / 主演: 頭師佳孝、菅井きん、伴淳三郎)
黒澤明が木下恵介、市川崑、小林正樹と結成した「四騎の会」第一作。黒澤初のカラー映画。山本周五郎の小説「季節のない街」が原作で、貧しくも精一杯生きる人々の生活を明るいタッチで描く。
- 3日(日) 静かなる決闘 (開始時間 / 15:00、18:00)
(1949年、95分、35mm / 主演: 三船敏郎、三條美紀、志村喬)
戦時中の野戦病院で、軍医として働く青年医師の藤崎恭二は、手術中誤って性病に感染する。復員後、日本に戻った彼は、そのことで一人思い悩み、婚約者との結婚に踏み切れずにいた。
- 4日(月) 及び 5日(火) は上映なし
- 6日(水) 赤ひげ (開始時間 / 14:00、18:00)
(1965年、185分、35mm / 主演: 三船敏郎、加山雄三、山崎努)
江戸時代後期、享保の改革で徳川幕府が設立した小石川養生所を舞台に、そこに集まった貧しく病む者とそこで懸命に治療する医者との交流を描く。第39回キネマ旬報第1位、第26回ヴェネツィア国際映画祭で男優賞(三船敏郎)、サン・ジョルジョ賞を受賞。1970年代半ば、アルゼンチンでこの作品は、「Bondad Humana (人間愛)」のタイトルで封切りされた。
- 7日(木) どん底 (開始時間 / 15:00、18:00)
(1957年、125分、35mm / 主演: 三船敏郎、山田五十鈴、香川京子)
マクシム・ゴーリキーの同名戯曲「どん底」が原作。舞台を日本の江戸時代に置き換え、貧しい長屋に住む様々な人間の人生模様を描いた時代劇。
- 8日(金、祝日) は上映なし
- 9日(土) 生きものの記録 (開始時間 / 15:00、18:00)
(1955年、103分、35mm / 主演: 三船敏郎、三好栄子、佐田豊)
米ソの核軍備競争やビキニ環礁での第五福竜丸被爆事件などに触発され、原水爆の恐怖を真正面から取上げた作品。戦後、老齢ながら町工場を経営していた中島喜一は自身の体験から、核爆弾の恐怖におびえ、日本を脱出し、ブラジル移住まで計画していたが、家族に全く理解されなかった。当時35歳の三船敏郎が60歳の老人を演じた。
- 10日(日) 白痴 (開始時間 / 14:00、18:00)
(1951年、166分、35mm / 主演: 森雅之、三船敏郎、原節子)
戦犯として処刑される直前に人違いと判明して、自由の身となった亀田は、雪深い札幌に戻った。その時の後遺症で、しばしば、てんかん症にさいなまれた。白痴(精神薄弱)の症状こそあるものの、彼の無邪気で純真な行動は、回りに影響を及ぼさずにはいなかった。19世紀のロシアを舞台にしたドストエフスキーの同名小説が原作。
- 11日(月) 及び 12日(火) は上映なし

- 13日(金) 醜聞 (開始時間 / 15:00、18:00)
(1950年、104分、35mm / 主演: 三船敏郎、山口淑子、志村喬)
過剰なジャーナリズムと、無責任なマスコミの言論の暴力に満ちた社会そのものを徹底批判した巨匠・黒澤明監督若き日の秀作。黒澤初の松竹映画。
- 14日(木) 素晴らしき日曜日 (開始時間 / 15:00、18:00)
(1947年、108分、35mm / 主演: 沼崎勲、中北千枝子、菅井一郎)
敗戦直後の東京を舞台に、貧困・荒廃の厳しい現実の中、それに立ち向かい力強く生きようとする若い恋人2人の姿を通して、当時の日本社会がリアルに描かれている。米国のD.W. グリフィス監督の無声映画「素晴らしい哉人生 (1924年)」に着想を得た作品。
- 15日(金) わが青春に悔なし (開始時間 / 15:00、18:00)
(1946年、110分、35mm / 主演: 大河内傳次郎、三好栄子、原節子)
1930年始め、大学教授をしていた八木原は、当時の日本にみなぎっていた軍国主義を批判したかどで、大学から追放された。そんな中、八木原の娘、幸枝は、全く政治的考えの異なる父の教え子2人に惹かれていった。京大・滝川事件とゾルゲ・スパイ事件をモチーフに、黒澤明監督が戦後初めてメガホンを取った作品。
- 16日(土) 赤ひげ (開始時間 / 14:00)
(1965年、185分、35mm / 主演: 三船敏郎、加山雄三、山崎努)
静かなる決闘 (開始時間 / 18:00)
(1949年、95分、35mm / 主演: 三船敏郎、三條美紀、志村喬)
- 17日(日) 白痴 (開始時間 / 14:00)
(1951年、166分、35mm / 主演: 森雅之、三船敏郎、原節子)
どですかでん (開始時間 / 18:00)
(1970年、140分、35mm / 主演: 頭師佳孝、菅井きん、伴淳三郎)
- 18日(月) 及び 19(火) は上映なし
- 20日(水) どん底 (開始時間 / 15:00)
(1957年、125分、35mm / 主演: 三船敏郎、山田五十鈴、香川京子)
生きものの記録 (開始時間 / 18:00)
(1955年、103分、35mm / 主演: 三船敏郎、三好栄子、佐田豊)
- 21日(木) 醜聞 (開始時間 / 15:00)
(1950年、104分、35mm / 主演: 三船敏郎、山口淑子、志村喬)
- 22日(金) 素晴らしき日曜日 (開始時間 / 15:00)
(1947年、108分、35mm / 主演: 沼崎勲、中北千枝子、菅井一郎)
- 23日(土) わが青春に悔なし (開始時間 / 15:00)
(1946年、110分、35mm / 主演: 大河内傳次郎、三好栄子、原節子)

(c) 1970 Yonki no Kai / Toho Co., Ltd.



(c) 1957 Toho Co., Ltd.



Centro Cultural e Informativo de la Embajada del Japón, Bouchard 547, piso15, CABA, TEL.4318-8240
centro-info@bn.mofa.go.jp / <https://www.facebook.com/Emb.jp.ar>